

学生からのコメント

専門分野：整数論

数理科学科の皆さん、こんにちは。栗原研学部4年の中村雄太です。

栗原研は現在、栗原先生、特任助教の先輩が1人、学振研究員の先輩が2人、博士課程の先輩が1人、修士課程の先輩が4人、それと私です。

学部生は、週1回のセミナーで整数論について勉強しています。私は、春学期は雪江明彦先生の「整数論1 初等整数論から p 進数へ」と「整数論2代数的整数論」を読み代数的整数論を学びました。内容としてはデデキント環の素イデアル分解や、イデアル類群の有限性や、ディリクレの単数定理の証明を行いました。学部生のセミナーは栗原研のメンバー全員が原則参加することになっており、程よい緊張感の中でセミナーをしています。セミナーでは聴講者が聞いていてわかりやすいように発表をしないとイケません。したがって、教科書に書いてあることをただまとめて発表するだけでは十分ではなく、行間を埋めたり、時にはその他の本を参照して証明の構成を自分なりに工夫することが必要です。セミナーに向けての準備は決して楽ではなく時間もかかります。しかし時間をかけて準備をした分毎回の発表ごとに理解を深めることができとても充実した時間を過ごすことができます。そして栗原研の先輩は大変優しく親しみやすい方ばかりで、わからないことがあったら質問をすれば快く答えていただけます。私は同期がいないため頼れる先輩方の存在に非常に助けられています。

栗原研にはセミナーだけではなく、様々なイベントがあります。毎年、春と秋には早慶戦の応援に行きます。試合の後には飲み会がありそこでは研究室のOBの方とも楽しくお話をさせていただきました。また、夏休みには合宿があります。今年は千葉の白子で行われました。私はこの合宿で保型形式についての発表を行いました。学期中のセミナーとは少し変わった話をしたので少し苦労しました。



また先輩方の発表は非常に難解なものではありましたがいいお話が聞けたと思います。セミナーの後の飲み会では先輩方と趣味や音楽等の普段はあまりしないような話ができ、さらに親睦を深めることができました。昨年度の合宿ではかなりお酒を飲んだという話を聞いていたのですが、今年はお酒好きな先輩が日程の都合により不参加だったこともあり、程よい量で終わり、とても会話が盛り上がりとても充実した時間を過ごすことができました。その他不定期で飲み会等もあるためお酒が好きな方、そうでない方も大歓迎です。

最後になりますが栗原研は整数論や代数に興味がある方には最高の場所であると思います。研究室の雰囲気をもっと知りたい方、少しでも興味があるという方はぜひ”栗原研超公式サイト”をご覧ください。気軽に私を含め栗原研のメンバーに話しかけてください！

教員からのコメント



栗原研卒業生達との食事会で

整数論を研究しています。数の世界に入っていくと、深く進めば進むほど美しい世界が広がるのです。

ちょうど、山に登ったときに、上に行けば行くほど美しい景色が広がるように、先に進めば進むほど、美しい景色が広がります。そして下を見ると、なるほどあの部分はこうなっていたのか、とわかります。写真を撮ってきて、見せてあげたいとも思いますが、やはり写真では本物の感動は伝わらないようです。自分で汗をかいて登ってみて、初めてめぐり合える景色は格別です。数理科学科に来て、数学

を勉強してみると、今までの数学は子供向けのものだったことがわかると思います。

皆さんも、数理で本物の数学に出会いませんか。なお、整数論は代数系に分類されていますので、まずは代数を勉強してほしいと思います。今までの数学が苦手な人でも、これからの勉強で代数系の科目は十分に間に合います。要は興味を持って自分で進むことです。数理科学科で数の世界の神秘を体験してほしいと思います。